
11月16日更新 名古屋大学教育学部附属中学校の生徒さんが、インタビューをするために来館されました。

調査研究課の尾崎です。

11月10日(木曜日)に名古屋大学教育学部附属中学校の生徒さんが、愛知県埋蔵文化財調査センターの仕事について取材に訪れました。名古屋大学教育学部附属中学校の1学年では、「生き方を探る」という大テーマをもとに、各自の関心に基づいた個人テーマを立て、1年間にわたって探究活動を行っています。今回は「考古学者について」というテーマで取材に来られました。インタビューには尾崎が対応しました。

インタビューでは「この職業に就こうと思った理由」「仕事をする中で大変なこと、楽しいこと」「仕事のやりがい」など、仕事に関わる多数の質問を受けましたが、質問を受けている方が多少緊張してしまいました。一つ一つの質問に答えると、生徒さんは真剣なまなざしで話を聞いてくれたので、考古学にとっても興味があるのだと感心しました。答えたことに関して、さらに関連させて質問をしてくれたこともうれしかったです。

インタビュー終了後は第1次遺物整理室の見学も行いました。第1次遺物整理室では、遺物の接合・実測・拓本の各作業について説明しました。接合された土器や実測図、実測道具などを見て、生徒さんの目が輝いていたのが印象的でした。ここでも生徒さんは説明に多くの質問をしてくれました。今回のインタビュー、職場訪問をとおしてさらに考古学に興味を持っていただけたらうれしく思います。



インタビューと第1次遺物整理室の見学の様子

今回来館して下さった中学生の方も含め、若い世代の方にももっと歴史や考古学について興味を持って学んでもらいたいと思っています。調査センターでは今後も普及・公開活動を続けてまいりますので、皆様ご活用よろしくお願ひします。

11月9日更新 あま市七宝焼アートヴィレッジ「ふれあい七宝」の皆さんが施設見学に訪れました。

調査研究課の鶴飼です。

あま市アートヴィレッジ「ふれあい七宝」20名の皆さんが、施設見学に訪れました。はじめに所長から調査センターの役割について、出土した遺物の管理、発掘調査の工程調整などを行っていることを説明しました。

その後、朝日遺跡(清須市・名古屋市)の調査で出土し、国の重要文化財に指定された弥生時代の土器や、笹平(ささだいら)遺跡(設楽町)の発掘調査で出土した縄文時代の土器・石器などについて、展示遺物を紹介しながら解説しました。「ふれあい七宝」の皆さんは解説に聞き入り、メモや写真をとられていた方もみえました。皆さんは短い見学時間でしたが、はるか昔の人々の暮らしに思いをはせていたと思います。



所長の説明



遺物展示の見学

当センターでは平日の月曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで、展示遺物の見学を随時受け付けています。また朝日遺跡出土の重要文化財については、**11月11日(金曜日)まで特別に公開しています(土曜日・日曜日・祝祭日は休館)**。お気軽に訪れてください。

団体等の見学については、下記の宛先まで**事前に電話、もしくはメールにてお申し込みください**。

電 話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担 当 者 佐藤

11月7日更新 10月29日、30日に『秋の特別開館』を実施しました。

『秋の特別公開2016』の開催に伴い、10月29日(土曜日)と30日(日曜日)に『特別開館』を行いました。両日は国の重要文化財に指定されている朝日遺跡出土の弥生土器4点を使っての拓本を楽しんでいました。作った拓本は銅鐸(どうたく)などの重要文化財の映像と共に、透明なフィルムに挟み込み熱加工して、世界に一つしかないしおりの完成です。

30日は弥富市教育委員会のご厚意で、第31回国民文化祭関連事業の市教育委員会等主催の『史跡めぐりウォークキング 史跡発見! きんちゃんウォーク』の7番目のチェックポイントに当センターを設定してもらったために、午前中に多くの方がセンターを訪れました。チェックポイントでスタンプを押した後に、訪れた方々は重要文化財などの展示を見学し、拓本を使ったしおり作りを楽しんでいました。



朝日遺跡出土 国指定の重要文化財



拓本体験



史跡発見！きんちゃんウォークのチェックポイント

『秋の特別公開2016』は**11月11日(金曜日)まで(但し、5日(土曜日)、6日(日曜日)は休館)**開催しています。朝日遺跡の貴重な土器がみられるよい機会ですので是非ともお越しください。

なお、愛知県埋蔵文化財調査センターでは春にも重要文化財の特別公開を行い、併せて火起こし等も行っております。弥富市のさくら祭にお越しの際は当センターにも足をのばしてください。

11月2日更新 愛知県立高蔵寺高等学校の皆さんが施設見学に訪れました。

愛知県立高蔵寺高等学校の1年生、31名の皆さんと引率の先生方2名がキャリア教育の一環で当センターの施設見学に訪れました。

センターの職員から、埋蔵文化財とはどのようなものなのか、どうして埋蔵文化財の発掘調査が必要なのか、解説を受けました。また『マップあいち』の「埋蔵文化財マップ(埋蔵文化財・記念物)」にある高蔵寺高等学校周辺の地図または映像をみて、学校の周りによって多くの古墳があったことを説明すると、現在、宅地化された学校の周囲の状況からは想像できないようで、多くの生徒が驚いていました。また今後、どんな進路に進んだら歴史・考古学に関わりのある道に進めるかを解説すると、みんな熱心にメモをとっていました。



講義1考古学とは

施設の見学では、1階の一次整理室で整理作業員が接合や実測している様子や木器の保存槽を熱心に見学していました。2階にある展示のコーナーでは展示遺物の解説を興味深く聞き入り、特に特別閲覧室にある朝日遺跡出土の人骨の剥ぎ取り展示に対する関心が高かったようです。3階では収蔵庫で多くのコンテナに驚き、科学分析室では埋蔵文化財センターの担当職員から、昆虫化石、珪藻(けいそう)分析などの科学分析で古い時代の環境が復元できることを聞いて理科系の分野でも考古学に深く関わりがあることに関心を示していました。

土器に触れる体験では、朝日遺跡から出土した赤彩土器(せきさいどき)や円窓付土器(まるまどつきどき)を教材として用意しました。今まで土器に触れたことがない生徒ばかりで最初は恐る恐る手を出していましたが、時がたつと両手で土器に触れ、生徒同士で盛んに使い方や特徴について話していました。



講義3 土器に触れる-1



講義3 土器に触れる-2

提出してもらったアンケートでは、**大方の生徒たちが考古学に興味をもったようです**。次のような意見が目立っています。

「物から歴史を学ぶことに興味がわいた」

「本物の土器に触れ、いろいろな時代の土器を見れたことが楽しかった」

「埋蔵文化財や歴史について深く知りたいと思った」

あっという間に予定していた90分は過ぎてしまい、思い思いの感想を胸に抱き生徒たちは午後からの見学施設に向かいました。



終了の挨拶

当センターでは**キャリア教育のための施設見学**、**職場体験のための施設利用**などを受け入れております。ご希望の学校は**下記の連絡先に連絡願います**。

電 話 0567-67-4164

メールアドレス maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

担 当 者 佐藤

10月28日更新 下山交流館ふれあい祭に参加しました。

調査研究課の鶴飼です。

10月22日(土曜日)・23日(日曜日)、豊田市下山交流館で開催された下山交流館ふれあい祭に参加しました。今回はこれまでの発掘調査で出土した遺物のうち、石器に焦点を絞って展示しました。石鏃(せきぞく)やスクレイパーなどの展示品について、来場者から使い方や石器の材料となる石について多くの質問が寄せられました。また遺物の実測作業などの写真や、実測道具もあわせて展示しました。

今回もう一つの催し物として、輪投げをおこないました。ペットボトルの的(ま)とに土偶やはにわのイラストを巻き、投げ輪が入ったら記念品としての的とおなじ絵柄のカードを差し上げました。輪投げは子供たちにも好評で、2日間でのべ350人近くが参加してくれました。

今回開催した展示の来場者は、2日間でのべ669人でした。厚くお礼申し上げます。来年も参加を予定していますので、是非ご参加ください。また発掘調査の成果についても、調査センターのホームページで随時成果を報告いたしますので、ご期待ください。

* 石鏃(せきぞく) 石で造られた矢じり。矢の先端につけて使います。

* スクレイパー 石の縁(ふち)に厚い刃をつけた石器のこと。動物や樹木の皮をはぐために用いられたと考えられています。



交流館祭の様子

10月17日更新 愛知県立海翔高等学校で出前授業を行いました。

調査研究課の尾崎です。

10月6日(木曜日)に愛知県立海翔高等学校で出前授業を行いました。今回は初めて公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター(以下、埋文センターと略)の職員の方と共同で実施しました。授業には環境防災コースの生徒さん8名が参加してくれました。

授業は2部に分けて行いました。第1部では、朝日遺跡から出土した円窓付土器(まるまどつきどき)を実際に手に取って、その特徴や使用方法を考えるアクティブラーニングを行いました。実際に手に取ってみると自分が思っていたことと違っていたようで「意外に軽い」や「表面がざらざらしている」などの意見が聞かれました。土器の特徴や作り方を説明すると、みんな興味を持って話を聞いてくれたのが印象的でした。使用方法については「土器の口の部分から物を入れて円窓の部分から取り出す」や「中に火をともして灯りとして使った」などの意見が聞かれました。使用方法についてはよくわからない点が多く、今後の説明がまたれますが、頭を使って楽しく学べたかと思います。

第2部では、環境防災コースに関係の深い「地震」について、埋文センターの職員が講義を行いました。東日本大震災での被害状況の話から始まり、地震のメカニズムや海翔高校周辺の地盤、遺跡から分かる地震被害など様々なことが話題となりました。生徒さんたちは職員が話していることを聞き漏らさないように、しっかりとメモを取っていたのが印象的でした。職員の話に相槌を打って聞いている様子からも関心を持って授業を受けていると感じました。今回学んだことは、近い将来必ず起こるといわれている大地震に備えるきっかけとなったかと思います。私自身も学んだ知識を活かしていきたいです。

愛知県埋蔵文化財調査センターでは今後も出前授業を続けていきます。御活用よろしくお願いたします。



出前授業の様子